■透析システム　特記仕様書

基本要件				
1	サーバー要件			
	1-1	Windows Server® 2008 R2 Standard (64bit)以上を有すること。		
	1-2	CPU インテル Xeon® プロセッサー E5-2407 (2.20GHz/4 コア)以上を有すること。		
	1-3	メモリー12GB (2GB × 6)以上を有すること。		
	1-4	記憶容量HDD 500GB × 4 (RAID5+Hotspare)以上を有すること。		
	1-5	電源800W [AC100V/200V] × 1以上を有すること。		
	1-6	表示装置液晶モニタ (解像度:1280 × 1028 以上)以上を有すること。		
	1-7	バックアップ用HDD 2TB (1TB × 2、タワー型)以上を有すること。		
	1-8	UPS(無停電電源装置)を有し、サーバの自動シャットダウン機能を有すること。		
2	クライアント要件(管理用端末、体重計連動端末、クライアント用タブレット)			
	2-1	透析システムで使用する標準的な端末はデスクトップ型、ノートパソコン型としこれらはコストパフォーマンスに優れ、且つ以下の性能を有するものとする。また、これらは別に示すオペレーティングシステムが動作するOADGテクニカル・リファレンスのハードウェア編に準拠したインタフェースを持つパーソナルコンピュータであること。 また、iPadが使用可能であること。		
	2-2	デスクトップ型のディスプレイは液晶で19インチ以上とする。解像度は1280×1024以上とする。		
		デスクトップ型		
		CPU		
	2-3	動作周波数:corei3-4160 3.6GHz 相当		
		メインメモリ		
	2-4	4GB(DDR3 SDRAM/PC3-12800) 相当以上		
	2-5	LAN、音声等のインタフェース		
	2-6	マザーボードに一体化され、LANは1000Base-T/100Base-TXに対応していること。		
		ハードディスク装置		
	2-7	容量は各端末に適切なものとする。HDD:320GB相当		
		iPad		
		透析システムで使用するiPadは、以下のスペックを満たしていること。		
	2-8	OS:iOS 9.0		
	2-9	CPU:Apple A8チップ		
	2-10	MEM:2GB		
	2-11	記憶容量:フラッシュメモリ 16GB		
	2-12	画面:9.7インチ型マルチタッチ液晶 (解像度:2048×1536)		
	2-13	ネットワーク:IEEE 802.11a/b/g/n/ac無線LAN		
病院既存電子カルテシステム(ソフトウェア・サービス社)等(以下、HIS)との連携に関して以下の要件を満たしていること。				
3	3-1	電子カルテシステムベンダを指定(呈示)する方式で、情報の連携が行えること。		
	3-2	HISから患者属性(ID、氏名、年齢等)情報を受信ができること。		
	3-3	チェックイン情報、透析予約情報がHISへ送信できること。		
	3-4	HISへ透析実施情報を送信できること。		
	3-5	HISの端末から透析経過記録(透析レポート)を参照するためのwebファイルを作成ができること。		
	3-6	HIS端末と同端末上で動作が可能であること。		

■透析システム　特記仕様書

機能に関して以下の要件を満たすこと。				
4		透析用監視装置等（以下、透析装置）と相互通信が行えること。		
	4-1	クライアントPCに接続された体重計にて測定した患者の透析前体重値から、目標除水量、除水速度を自動計算し、透析装置へ転送できる機能を有していること。		
	4-2	透析装置に目標除水量、除水速度の他、透析液温度、抗凝固剤注入速度、自動血圧計の加圧値も自動設定でき、また患者名、透析前体重、体重増加量、加算量、ドライウェイト等患者情報を送信できる機能を有していること。		
	4-3	透析中の状態（治療工程、現在除水量、除水速度、静脈圧、透析液圧、血液流量、抗凝固剤注入速度、TMP等）をモニタリングし、それらのデータを一定間隔で収集し、保存できる機能を有していること。		
	4-4	透析中の患者のバイタル（血圧、脈拍）をモニタリングし、それらのデータを収集し、保存できる機能を有していること。		
	4-5	機能を「医師メニュー」、「看護師メニュー」、「技士メニュー」などの職種別に振り分け、システムログイン者の職種を認識して使用可能なメニューを表示していること。		
	4-6	申し送り事項や医師から指示等を入力しておくことができる掲示板機能を有し、記入された情報の表示開始日、期間を任意に指定ができること。		
	4-7	患者の属性情報(カルテ番号、氏名、住所、連絡先など)や治療条件（血液浄化法、透析時間、ダイアライザー、薬剤、ベッド番号など）の内容を変更した記録やスタッフがどの画面でどの操作をしたかという記録が残すことができること。		
	4-8	緊急透析セット、標準セット等、あらかじめ任意に透析条件をセット化でき、そのセット化された透析条件を利用し、その患者独自の条件を作成できる機能を有していること。		
	4-9	透析記録用紙、診療情報提供書、看護サマリー等、全ての帳票類はプレビュー機能により、印刷イメージを確認でき、CSVファイルもしくはPDF等での出力が可能であること。		
	4-10	バスキュラーアクセス情報を画像と共に管理できる機能を有していること。		
	4-11	患者の禁忌薬入力チェック機能を有していること。		
	4-12	医師指示入力機能を持ち、入力された内容は履歴管理できること。		
	4-13	透析スケジュールを1週間単位もしくは1ヶ月単位等、指定した期間で作成ができること。		
	4-14	患者のベッド予約状態が一目で把握できる機能を持ち、また、その画面にて患者名をマウスでドラッグ＆ドロップで、ベッド変更が可能であること。		
	4-15	透析スケジュールから必要な物品（ダイアライザ、血液回路など）を患者毎と物品毎に集計表が作成ができること。		
	4-16	取り込んだ検査結果からKt/Vの計算が自動で行うことができること。		
	4-17	ノート型クライアントPCは、治療中の患者の透析経過記録を表示できる機能を有し、表示させるベッド番号を任意に設定可能であること。		
	4-18	透析装置から血圧変化が参照でき、コメント・処置・注射等の画面入力が可能であること。		
接続機器				
5		以下に挙げる装置と接続すること。また接続にかかる全ての費用は本調達に含めること。		
	5-1	体重計　1台		
	5-2	透析監視装置　20台		
調達機器				
6		(調達物品)		
	6-1	透析システムサーバー一式		※ニプロに必ず確認をすること。
	6-2	体重計　1台		※ニプロに必ず確認をすること。
	6-3	体重計連動用PC		※ニプロに必ず確認をすること。
	6-4	管理用PC		※ニプロに必ず確認をすること。
	6-5	iPad×15台		※ニプロに必ず確認をすること。

■透析システム　特記仕様書

保守体制				
7		保守に関して以下の要件を満たすこと		
	7-1	通常の使用で発生した故障の修理、および定期点検を実施できる保守体制が整っていること。		
	7-2	通常の業務時間においては、ユーザからの障害連絡後、速やかに対応できる体制が整っていること。		
	7-3	システムの安定保守を努めるために、平日9時ー17時のサービスセンタを設けていること。		
	7-4	稼動後後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償メンテナンス保証に応じること。		
	7-5	夜間、休日などに修理が発生した場合、速やかに対応するため、現地に対応スタッフを備えていること。		
	7-6	リモートルータを使用し、遠隔からサーバ、クライアント端末のリモートメンテナンスができること。		
	7-7	リモートルータは着信のみで着番指定であること。		
	7-8	リモートルータを使用する請負業者の運用規定が定められていること。		
	7-9	サーバに関しては初期費用に5年間の保守費用を含むこと。		
その他				
8	8-1	仕様書に記載のない事項については、別途協議の上決定すること。		